



材料表面に高い質感を創出する新しい光学的評価法と 多様性社会における”つなぐ”コミュニケーションシステム

創造工学部 創造工学科 造形・メディアデザインコース 講師 松岡 慧

研究シーズの概要

ここ数年、以下に示す2つのテーマについて、研究を進めています。

(1) 材料表面に高い質感を創出する新しい光学的評価法

人は、モノ（材料表面）を見る際、一般には、様々な観察角度から見ています。しかし、従来の質感評価法は、一定の観察角度による評価であったため、観察角度の揺らぎなどに伴う質感評価ができていませんでした。そこで、私たちは、多角度の観察角度による質感評価法を構築し、従来では表現できなかった、奥行き感、深み感、高級感など高い質感の定量的評価を可能にすることに成功しました。また、それにより、高い質感を創出するための光学特性も解明することができました。なお、これらの成果は、2024年度日本デザイン学会論文賞の受賞につながりました。

今後は、これらの知見を、様々な製品、建造物の開発や品質管理、食品管理などに応用し、高い質感の創出に貢献していく所存です。

(2) 多様性社会における”つなぐ”コミュニケーションシステム

多様性社会において、人と人のつながりを支援するコミュニケーションシステムが、ますます、望まれていると考えます。この背景から、私はこれまで、人と人の繋がりにおいて、時間経過に伴う疎遠関係に気づきを与えるシステム「KIZUNA Visualizer」や、インバウンドなどの外国人訪問者に対して、自動で使用言語を識別し、案内するロボットシステム「多言語コミュニケーションシステム」を提案するなどの研究を行ってきました。これからも、現代社会において必要とされる“つなぐ”に注目した様々なシステムの開発を進めていく所存です。

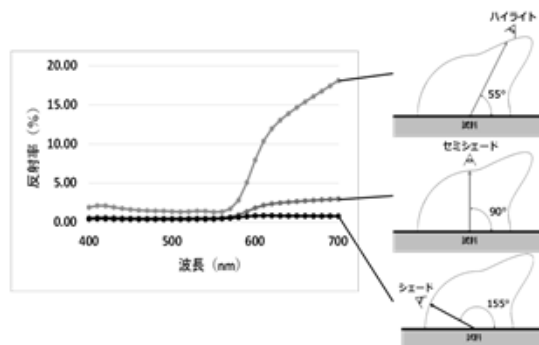


図1 多角度の観察角度による光学特性

【利用が見込まれる分野】 研究シーズ（１）：製品開発・品質管理，食品管理，化粧品・美容
研究シーズ（２）：観光産業，店舗（接客），教育産業

研究者プロフィール

松岡 慧 / マツオカ ケイ



メールアドレス matsuoka.kei@kagawa-u.ac.jp
所属学部等 創造工学部 創造工学科 造形・メディアデザインコース
職位 講師
学位 博士（工学）
研究キーワード 色彩&テクスチャ、VR/AR/MR、デザインサイエンス

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

問い合わせ番号：EN-24-003

直通電話番号：087-832-1672

メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp